

科 目	単位（時間）	担 当 者	授業時期
臨床検査	1 単位 (15 時間)	市川 徹郎（病院医師） 柴田 綾（臨床検査技師） 山寄 翔太（放射線技師）	3 年前期
【学習目標】 疾病や病態の診断や経過を判断する上で必要な検査を理解する。 放射線及び超音波による画像検査の基本と放射線防御について理解する。 【授業の進め方】 講義 病院検査室・放射線検査室見学（時間外） 【授業スケジュール】 1 臨床検査とは（医療の中の臨床検査の位置付け、目的、種類、基本検査と精密検査） 2 床検査データの基礎 3 臨床検査の流れと看護師の役割 4 床検査の流れと看護師の役割 5 超音波，I V R、血管造影 6 放射線医学，画像診断、X 線診断 7 C T、核医学、MR I 8 試験 【教科書】 系統看護学講座別巻 臨床放射線医学 医学書院 系統看護学講座別巻 臨床検査 医学書院 【参考書】 なし 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単位（時間）	担 当 者	授業時期
臨床薬理学	1 単位 (15 時間)	田中 健二 (病院薬剤師)	3 年前期
【学習目標】 臨床現場で用いられている代表的な薬の作用機序と副作用、与薬上の留意点について学ぶ 【授業の進め方】 講義 【授業スケジュール】 - 薬物治療の基礎（医薬品の取り扱い・薬物治療の実際・チーム医療と薬物治療） - 対症療法薬 ①解熱鎮痛薬 ②便秘治療薬 - 対症療法薬 ③鎮咳・去痰薬 ④睡眠薬 - 高血圧症、心不全（病態と症状・薬物療法の基本・薬物療法における看護師の役割） - 不整脈、抗血小板・抗凝固療法 (病態と症状・薬物療法の基本・薬物療法における看護師の役割) - 気管支喘息、COPD（病態と症状・薬物療法の基本・薬物療法における看護師の役割） - 慢性腎臓病、糖尿病、認知症 (病態と症状・薬物療法の基本・薬物療法における看護師の役割) - 試験 【教科書】 系統看護学講座 別巻 臨床薬理学 医学書院 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単位（時間）	担 当 者	授業時期
栄養学	1 単位 (15 時間)	風間 悦子 (大学教授)	3 年前期
【学習目標】 食と健康についての基礎的な事項を理解し、学生自身が望ましい食生活を行うことを習得する 【授業の進め方】 講義、演習 【授業スケジュール】 1 健康づくりと食生活 2 ライフサイクルと食の特徴 3 食物の機能・栄養素の特徴 4 自分の食生活の課題 5 栄養素の消化・吸収・代謝 6 演習（献立作成・調理実習等含む） 7 〃 8 試験 【教科書】 看護栄養学 医歯薬出版 【参考書】 配布資料 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単位（時間）	担 当 者	授業時期
看護栄養学	1 単位 (15 時間)	大久保 早苗 (病院栄養士)	3 年前期
【学習目標】 疾患を持つ対象者に対して適切な栄養指導、健康指導を行うための知識を得る 【授業の進め方】 講義、演習 【授業スケジュール】 1 栄養アセスメントと栄養障害 2 栄養法（経口・経管） 3 疾病と栄養指導の実際（内分泌・代謝疾患） 4 疾病と栄養指導の実際（腎疾患・循環器疾患） 5 疾病と栄養指導の実際（消化器疾患） 6 高齢者の栄養と在宅患者の栄養支援 7 チーム医療と栄養士の役割 8 試験 【教科書】 看護栄養学 医歯薬出版 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単 位（時間）	担当者	授業時期
関係法規	1 単位 (15 時間)	徳武 義幸（長野保健福祉事務所副所長） 松本 泉（食品・生活衛生課長） 原田 信子（検査課長）	3 年前期
【学習目標】 法律の基礎知識を学び、生活者の健康を守るための法規の内容を理解する。 【授業の進め方】 講義 【授業スケジュール】 第 1 回 第 1 章 法 の 概 念 第 2 章 看護法 第 2 回 第 3 章 医事法 第 3 回 第 4 章 保健衛生法 第 4 回 第 4 章 食品に関する法 第 6 章 環境衛生法 第 5 回 第 5 章 薬務法 第 6 回 第 7 章 社会保険法 第 8 章 福祉法 第 9 章 労働法と社会基盤整備 第 7 回 第 10 章 環境法 試験 【教科書】 ナーシンググラフィカ 健康支援と社会保障〔4〕 看護をめぐる法と制度 メディカ出版 【参考書】 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単 位（時間）	担 当 者	授業時期
公衆衛生	2 単位 (30 時間)	小林 由利子（校長 保健師） 百瀬 彩佳（須坂市保健師） 竹内 悠（須坂市保健師） 岡田 加菜（須坂市保健師）	3 年後期
【学習目標】 健康や生活の質を、個人や生活する地域全体、職域、学校、さらには社会全体の枠組みの中で考え、広く集団や社会の視点から健康問題をとらえることができる。また、関係する保健衛生に関する法規や行政のしくみを理解する。 【授業の進め方】 講義、グループワーク 学校長が公衆衛生総論として第 1 回から第 4 回まで、第 5 回から公衆衛生各論とし市町村保健師による地域の保健活動の実際を講義する。地域保健分野終了後に学校保健、産業保健の講義を行う。 【授業スケジュール】 1 公衆衛生の歴史、公衆衛生システムと政策 2 公衆衛生の理念・概念（ヘルスプロモーションとソーシャルキャピタル） 公衆衛生のものさし（統計情報の収集と見方、衛生の主要指標など） 3 公衆衛生のものさし（統計情報の収集と見方、衛生の主要指標など） 4 公衆衛生のものさし（統計情報の収集と見方、衛生の主要指標など） 5 市町村の保健活動について（成人保健） 6 市町村の保健活動について（高齢者保健） 7 市町村の保健活動について（母子保健） 8 精神保健福祉対策について 9 難病対策について 10 健康危機管理と災害 11 結核・感染症対策について 12 学校保健について 13 産業保健について 14 公衆衛生まとめ 15 試験 【教科書及び参考書】 メディカ出版：健康支援と社会保障② 公衆衛生 メディカ出版：健康支援と社会保障制度④ 看護をめぐる法と制度 厚生労働統計協会：国民衛生の動向 【参考書】 必要に応じて紹介する 【評価方法】 筆記試験			

科 目	単 位（時間）	担当者	授業時期
社会福祉論	2 単位 (30 時間)	西澤 久夫	3 年前期

【学習目標】

病気や怪我のために治療・療養が必要となり、収入・所得の減少や消滅により、生活の安定が損なわれそうになった人々の生活を支える公的な仕組みとしての社会保障制度の大枠をとらえ、それらの状況に直面した患者や家族の暮らしを守り、安心して療養が継続でき、安定した生活が維持・継続できるよう援助していくために必用となる基礎的な知識を獲得する。

【授業の進め方】

「授業の進行計画」（別途添付）に沿って、1 日に 2 コマ進め、休憩時間などに掲示した様々な資料を見て、日々変化する社会とそれに適応するように、社会保障制度が改正される姿を報道等の資料も駆使して、授業が立体的・多角的に展開できるよう努めて参ります。

【授業スケジュール】

第 1 回	令和 6 年 5 月 1 6 日（木）	社会保障制度
第 2 回	同日	社会福祉の法制度
第 3 回	5 月 2 3 日（木）	現代社会の変化
第 4 回	同日	医療保障
第 5 回	6 月 2 0 日（木）	医療保障の続き・介護保険
第 6 回	同日	介護保険の続き
第 7 回	6 月 2 7 日（木）	所得保障
第 8 回	同日	前半の「振り返りと確認・総仕上げ・・・」
第 9 回	7 月 4 日（木）	公的扶助（生活保護制度）
第 10 回	同日	高齢者福祉、一人親家庭の福祉、社会福祉と母子保健
第 11 回	7 月 1 1 日（木）	障害者福祉
第 12 回	同日	児童・家庭福祉
第 13 回	7 月 1 8 日（木）	婦人保護、その他の福祉
第 14 回	同日	後半の「振り返りと確認・総仕上げ・・・」
第 15 回	試験	

【教科書】

「社会保障・社会福祉」 健康支援と社会保障制度 3 医学書院

【参考書】

社会保証の手引き（中央法規）

【評価方法】

筆記試験